

伊那市地方創生総合戦略審議会からの意見と対応

委員からの意見	対応
もっと伊那市らしさが表れるようにするにはもう少し具体的に今、伊那市がやっている事実を「学校教育の充実の」中にもっと具体的に記してもよいのではないか。	戦略（素案）本体の 15 ページ以降に、学校教育の充実について、現在伊那市が主として取り組んでいる「キャリア教育事業」「食育事業」等を含めて追記しました。さらに戦略に記載できるような具体的取組があれば、今後の検証の中で、随時反映してまいります。
定住自立圏構想の中で、市長の言葉に買い物、医療の関係で利用するバス、公共交通を最大のテーマとしてやっていきたいといった内容があったが、そのあたりが載っていない。	28 ページの「定住自立圏の形成」の部分に、公共交通機関に関する記載を追加しました。
J R 飯田線の活性化の問題があり、リニアが開通してからの求めている時間基準が、東京圏 90 分、名古屋圏 60 分になる。アクセスになる飯田線として実際にできるかといえば、かなりの時間がかかってしまい、そのあたりが無理、矛盾がある。	2 次交通について、高速バスやデマンド交通などの検討について文言を追加しました。飯田線については、新たな枠組みで「医療促進」「輸送力強化」「利便性向上」の 3 本立てで活性化に向けての取組が始まっていることから、その点についても記載を加えました。
6 ページで「この要因として、女性数が減少及び出生率の低下が挙げられ、女性数の増加」とあるが、これは言葉を少し柔らかくした方がよい。	6 ページの表現を「若い世代が子どもを産み、育てやすい環境づくりに取り組む」に変更し、柔軟な表現としました。
18 ページで「学校教育の充実」で「総合的な学習の推進」をあげてあるが、教育委員会とすると、大きな柱は「キャリア教育の推進」「本格的農業体験を組み入れた食育の推進」「総合的な学習の推進」なので、大きな柱が見えるようにしてほしい。	18 ページ「子ども育成環境整備事業」について、「総合的な学習の推進」「キャリア教育の推進」「本格的農業体験を組み入れた食育の推進」の 3 本柱を中心に書き込みを充実させました。
「郷土を学ぶ教科書」とあるが、「教科書」という使い方はしないほうがよい。教科書は文科省の検定を受けないといけないので、「郷土を学ぶ副教材、資料」としないといけません。	18 ページについて、「郷土を学ぶ副教材・資料」に変更しました。
CCRC について、家族ぐるみの移住について、よい案だと思うが、まだ地域で待機している入所希望者が大勢いるので、事業として打ち立てていくのは、課題がある。検討していただければと思う。	国が求めている形ではなく、伊那市型の世帯丸ごと優秀な人材を来てもらうよい仕組みだという考え方もあり、研究をしていくということで、「若者と高齢者が集う伊那市版 CCRC の研究・検討」として、表現を改めました。
新しい高速新幹線で上伊那連帯して考えていくというのはひとつなのですが、駅を持つ飯田がどう考えているのかを考えないといけない。	26 ページに「伊那谷地域との連携・調整」の文言を追加しました。今後の検証の過程で、県や伊那谷地域との連携の中で、記載できる取組みが出てくれば、随時戦略に反映させていただきます。
企業のあり方では、上伊那から下伊那のほうに企業を中心に移ってしまうのではないかと思います。上伊那に残ってもらう企業が、今後、交通の関係からどのように出られるのか経済界としっかり話し、方向性を出していただければありがたい。	29 ページ以降に既存企業に対する支援の充実や、企業の本社機能や研究機関等の積極的な誘致やそのための環境整備についてさらに書き込みを行いました。

<p>地方創生は、少子化、高齢化の中で、地方創生をしないとイケない課題があるが、高齢化に対する記述がこの程度でよいのか。</p>	<p>高齢者施策に関しては、総合計画後期基本計画にも位置付けられていますが、今回策定する総合戦略は総合計画と整合を図りつつ、自然減の抑制、社会増への転換、仕事と収入の確保等の地方創生に特化した戦略を策定することから、戦略の重要な柱として位置付けることはしませんが、今後の検証の中で、戦略の中に盛り込める部分がないかさらに検討してまいります。</p>
<p>18 ページの「本格的農業体験を組み入れた食育の推進」にもし入れることができるのであれば、『農業体験を取り入れた食育事業「暮らしの中の食」を推進』と、『この事業を中心とした伊那市独自の信州型コミュニティスクールの推進』としていくと、伊那市としては暮らしの中の食を中核とした新種型コミュニティスクールを目指しているのので、より際立ってくる。</p>	<p>18 ページに『農業体験を取り入れた食育事業「暮らしの中の食」を推進』及び『食育事業を中心とした伊那市独自の信州型コミュニティスクールの推進』を記載しました。</p>
<p>結婚して子どもを育てることで、人口減少の今の状況の危機感とイかないまでも、大事なことであるということ、若い結婚する人により助長するような話をしてもらおう場も取り入れてもらいたい。</p>	<p>16 ページに「関係機関との調整・情報共有について、文言を追加しました。今後の検証の中で、さらに記載の充実をはかります。</p>
<p>緑や水辺など自然が多いところに魅力を感じている人が多く、活用もあるが、人や文化によって形成されてきた自然をいかに継承していくか、財産や資源にして活用していくことも大事ではないかと思っている。</p>	<p>20 ページに、地域資源の継承と活用について、文言を追加しました。地域資源を活用・継承していく事業についてさらに追加できるものがあれば、今後の検証の中で戦略に盛り込んでいきます。</p>
<p>地方創生の中に建設の考え方も入れていただきたい。</p>	<p>地方創生総合戦略は基本的にソフト事業を中心になってますが、今後の検証の中で、ソフト事業と組み合わせて戦略に盛り込んでいけるものがあれば、随時追加を行って参ります。</p>